

月 日 名前 _____

／100点

次の問題に答えましょう。（各10点）

1 俳句は、何音・何音・何音の形ですか。

答え

2 短歌は、何音の形ですか。

答え

3 俳句に入れる、季節を表す言葉を何とといいますか。

答え

4 俳句の切れ字の例を1つ答えましょう。

答え

5 「古池や蛙飛びこむ水の音」の作者はだれですか。

答え

6 季語「赤とんぼ」の季節はいつですか。

答え

7 季語「菜の花」の季節はいつですか。

答え

8 「～のように」を使ってたとえる表現技法を何とといいますか。

答え

9 人でないものを人のようにえがく表現技法を何とといいますか。

答え

10 俳句の最初の5音を何とといいますか。

答え

- 1 答え：五・七・五
- 2 答え：五・七・五・七・七
- 3 答え：季語
- 4 答え：（例）や・かな・けり
- 5 答え：松尾芭蕉
- 6 答え：秋
- 7 答え：春
- 8 答え：直喩
- 9 答え：擬人法
- 10 答え：上五（かみご）

要点まとめ

- ・ 短歌は「5・7・5・7・7の31音」、俳句は「5・7・5の17音で季語を入れる」。
- ・ 「天の川」「七夕」は秋の季語。今の季節の感覚でなく、昔のこよみで決まっています。
- ・ 「ような」があれば直喩、なければ隠喩。人でないものが人の動作をしたら擬人法。

解法ポイント

- ・ 俳句は五・七・五、短歌は五・七・五・七・七。
- ・ 季語と切れ字を見つける。
- ・ 表現技法（直喩・隠喩・擬人法・体言止め・倒置法）を区別する。